

～ 医療通訳システムのことを糸魚川から考えよう！～

医療通訳フォーラム in 糸魚川

「大都市と小都市」、「点から面へ」をキーワードに、医療通訳システムの構築・安定的な運営のあり方と通訳人材の効果的な育成方法を議論します。
あの大火事の糸魚川を医療通訳で盛り上げましょう！！

開催日

2017年7月9日（日）11:00—17:00

場所

フォッサマグナミュージアム
JR北陸新幹線・北陸本線「糸魚川」駅下車・バス10分、タクシー10分
糸魚川市大字一宮1313（美山公園内）

参加費/定員

3,000円（当日お支払い）/80名

申し込み方法

「糸魚川フォーラム」と明記し名前（ふりがな）・所属（あれば）、参加希望の分科会（1か2）を記載の上、info@rasc-cots.jpまで
アドレスが携帯の場合は携帯の番号も記載

問い合わせ先

プログラム内容は info@rasc-cots.jp へ
現地の状況は iisa.itoigawa@gmail.com へ



プログラムは裏面をご覧ください！

主催：糸魚川国際人材サポート協会（IISA）

IISAは「異なる文化を理解し、地域社会に活かす橋渡しをする 外国人も糸魚川市民！地域に活用し、糸魚川を元気に！」をビジョンに掲げ、糸魚川市内で病院・行政機関コミュニティ通訳システムを展開しています。

共催：糸魚川市環境生活課

協力：RASCコミュニティ通訳支援センター（Cots）

Cotsは医療通訳と学校通訳の支援を二本柱に研修実施や講師派遣などを行っています。

後援：（公財）新潟県国際交流協会



プログラム

基調講演 (11:05~12:00)

「医療通訳システムの現状と課題」

- ★ RASC コミュニティ通訳支援センター (C o t s) 代表 西村明夫 氏
全国各地域の医療通訳システムと研修講座の現状と課題などを比較検討し、分科会とパネルディスカッションの議論につなげます。

分科会 (13:00~14:50)

■ 分科会 1 「全国各地域の医療通訳システムの比較検討」

- ★ コーディネーター：医療通訳研究会 (M E D I N T) 村松紀子 氏
- ★ 大都市の事例：M I C かながわ 副理事長 岩元陽子 氏
- ★ 小都市の事例：伊賀の伝丸 代表理事 和田京子 氏
- ★ 観光都市の事例：なら多言語医療通訳サポート 代表 下村晴香 氏

■ 分科会 2 「医療通訳人材の効果的な育成方法の開発検討」

- ★ コーディネーター：新潟県立大学教授 坂口 淳 氏
- ★ 簡易研修手法の事例：C o t s 副代表 三木紅虹 氏
- ★ 模擬通訳C o t s モデルの実演：C o t s 上野一行 氏
- ★ 医療通訳養成 (独り立ちまでのステップ) の事例：りんくう総合医療センター国際診療科 部長、大阪大学大学院医学系研究科 国際・未来医療学講座 特任准教授 南谷かおり 氏

パネルディスカッション (15時00分~17時00分)

「大都市・小都市・観光都市の医療通訳システム：

点から面への普及と効果的な人材育成」

- ★ コーディネーター：西村明夫氏
- ★ パネラー：岩元陽子氏、坂口淳氏、下村晴香氏、南谷かおり氏、村松紀子氏、和田京子氏

